

次期総合戦略の策定に向けて

◆市民アンケートから見えるもの

生活環境における満足度

- ・『伊豆市の住み良さ』…約7割が『住み良い』と回答(H28:70.7%、H29:68.8%、H30:63.8%、R1:67.8%)
- ・『伊豆市への愛着』…約5割が『愛着を感じる』と回答(H28:51.0%、H29:49.7%、H30:44.8%、R1:49.9%)
- ・『今後も伊豆市に住み続けたい』…約6割が『住み続けたい』と回答
(H28:69.3%、H29:69.3%、H30:60.4%、R1:59.0%)

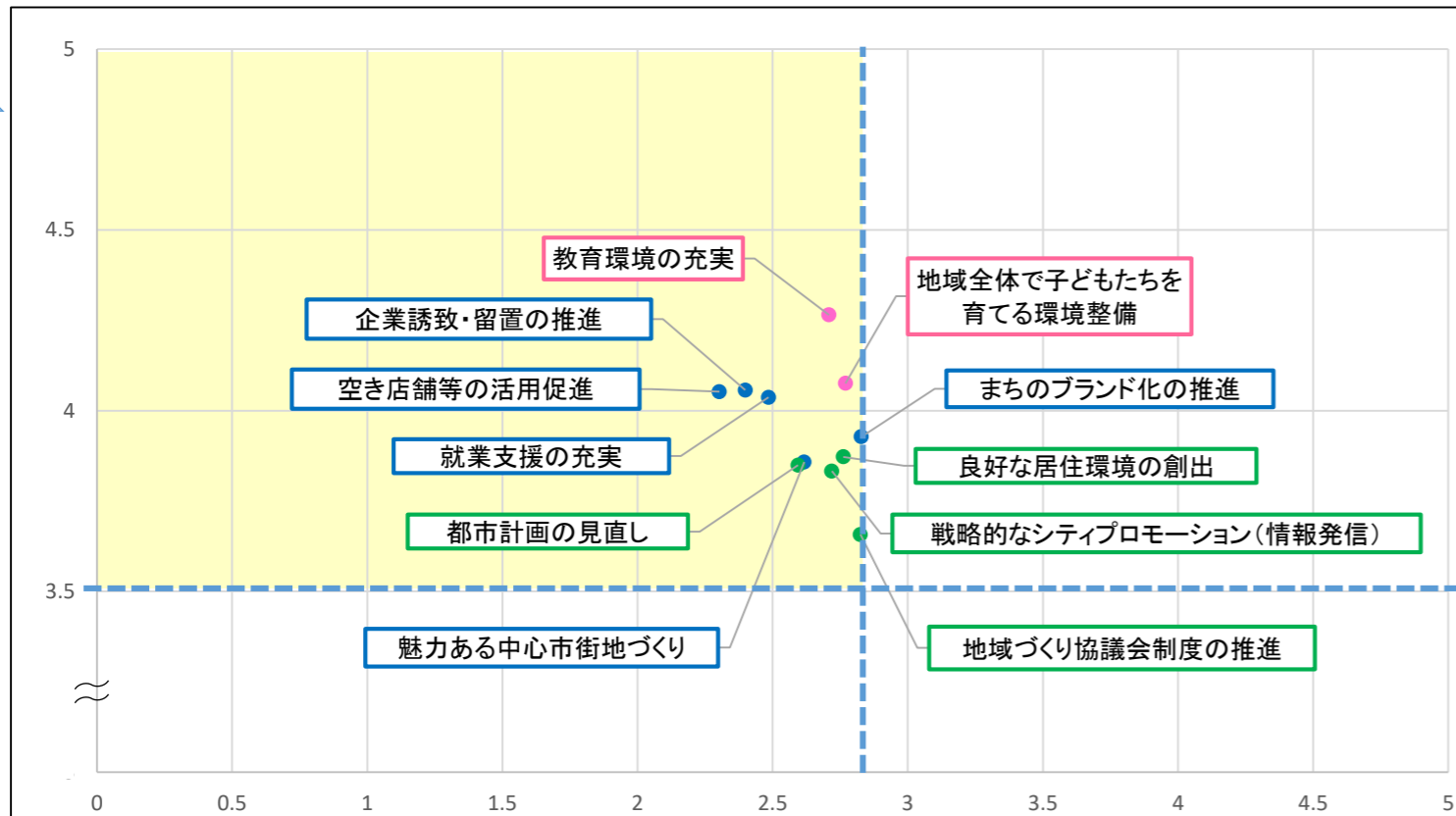
👉 若い世代ほど満足度が低い傾向があるが、20歳代、30歳代の『移転したい』という意向は改善傾向にある。

人口減少対策へのニーズ

- ・『産業の振興・雇用の創出』…全体で61.7%と最も回答が多い。
(年代別では、若い世代より年齢の高い世代のほうがニーズが高い傾向)
- ・『妊娠・出産、子育てへの支援』…全体で53.3%と2番目に回答が多い。
(年代別では、若い世代のニーズが高い傾向)
- ・『市外からの移住や定住の促進』…全体で48.8%と3番目に回答が多い。
(年代別では、平均的に高いものの、やや年齢の高い世代のほうがニーズが高い)

👉 若い世代では『子育て支援』のニーズが高く、年齢が高い世代では『移住・定住の促進』のニーズが高い。また、『産業の振興・雇用の創出』では、全体として最もニーズが高いが、若い世代よりも年齢の高い世代のほうが、ニーズが高い。

◆市民アンケートから分析される重要度が高く、満足度が低いもの



◆市民アンケートの分析・総括

戦略「しごと」

- 産業振興、雇用の創出へのニーズ
 - 就業支援の充実
 - 企業誘致、留置の推進
 - 魅力ある中心市街地づくり
 - 空き店舗等の活用促進
 - まちのブランド化の推進

❗ 「しごと」の中で、就業(雇用)支援をはじめ、起業支援に取り組むべきとの結果が出ている。

戦略「ひと」

- 妊娠・出産、子育て支援充実へのニーズ
 - 教育環境の充実
 - 地域全体が子供たちを育てる環境整備

❗ 「ひと」の中で、子育て支援をはじめ、教育環境の充実に取り組むべきとの結果が出ている。

戦略「まち」

- 移住・定住の促進へのニーズ
 - 戦略的なシティプロモーション
 - 都市計画の見直し
 - 良好な居住環境の創出
 - 地域づくり協議会制度の推進

❗ 「まち」の中で、移住・定住をはじめ、シティプロモーション、住環境、地域づくりに取り組むべきとの結果が出ている。



上記に加え、第1期の成果指標の達成状況なども追加して、人口減少に向けた第2期伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案を策定。

※地域資源を活用した観光事業の推進(しごと)、子育て支援サービスの充実(ひと)、各地域における交流、賑わいの創出(まち)は重要度が高く、満足度も高いものに分類されているが、第1期総合戦略も踏まえ、骨子案に反映していく。